

六甲及び摩耶山に産するスミレ科植物

川 崎 正

1. *Viola chaenophylloides* Becker. ナンザンスミレ, ヒゴスミレ
2. *V. eizanensis* Makino. エイザンスミレ, エゾスミレ, カクレミノ
此の三者はよく似てゐるがヒゴスミレの花は白色でエイザンスミレは淡紫白色である、
又葉は花後いつれも花時よりも大きくなるが、エイザンスミレは殊に大きくなり單純に三
裂する。
3. *V. grypocernas* A. Gray. ツボスミレ
これは従來タチツボスミレと呼んでいたもので有莖性の淡紫色を開く普通種である。牧
野博士が牧野植物混々録一巻誌上に於て、ツボスミレと改められた。(昭和21年)
4. *V. japonica* Langsd. コスミレ
葉の裏面時に淡紫色を帯びるものもあるが、表面はシハイスミレの様な艶がない、花は
淡紫色。
5. *V. mandshurica* W. Beck. var. *albescens* Nakai. ヨシロバナスミレ
此の種は筆者未見兵庫縣葎(育)会編の六甲山、摩耶山植物目録にある。(昭和十三年)
6. var. *ciliata* Nakai. スミレ, ケスミレ, スモトリバナ, カギトリバナ
普通のスミレである、根は柑色、葉及び葉柄に毛がある。
7. var. *glabra* Nakai. ケナシスミレ
名の如く全株毛がない。
8. *V. minor* Makino ヒメスミレ
全株小形、根は白色、花は濃紫色、スミレに比すれば小形、側瓣には鬚毛がある、距は
細い、葉脚は廣く大きな鋸齒があり、葉の半以上は細い。
9. *V. obtusa* Makino. ニホヒタ ツボスミレ
有莖性で根は稍硬質、花に芳香がある点が著しい特徴である。
10. *V. Okuboi* Makino. ケマルバスミレ
無莖性、葉はマルバスミレに似て葉面に散毛がある、花は白色であるが、乾くと変じて
黄色となる。
11. *V. phalacrocarpa* Makino. アカネスミレ
アムール、朝鮮、北海道等に多から北方系の植物である。無莖性、体上には細毛多
く、花は紅紫色側生花弁に毛が有り、さく果にも細毛がある。
12. *V. patrini* DG. シロバナスミレ
原野の濕つた向陽の地に生ずる無莖性のスミレで根は白い、葉は稍軟く毛がない、花は

白色或は淡紫色，距は円柱形，中井猛之進博士はこの学名のもとに種々のものが編入されていると，スミレ雑記に書いて居られる。

13. *V. Sieboldii* Makino. フモトスミレ

山地向陽の地に生ずる小さなスミレで，高さ6cm内外，葉の表面は紅紫色を帯びる，花は小さく白色，山麓に多い。

14. *V. Takedana* Makino. ヒナスミレ

無茎種，葉の表面は淡緑色で光澤がなく，裏面は多く紫色を呈する，最初出る葉は無色であるが，後から出るものは次第に白色を帯びる，花梗は葉上に高く出，花は淡紅色で，側弁に毛がない。

15. *V. verecunda* A. Gray. var. *exisa* Makino. ヒメアギスミレ

アギスミレに似て小形。

16. *V. verecunda* var. *semilunaris* Makino. アギスミレ

=ヨイスミレの一変種で，葉は深く彎入した心臓状底を有するので，それをあぎとに見立て名じたもの。

17. *V. verecunda* A. Gray. =ヨイスミレ

従来ツボスミレと呼んだものである。

18. *V. violacea* Makino. シハイスミレ

葉は上面紫色，裏面は紅紫色を帯びる，多少葉よりも高く，長梗を抽いて淡紅紫色の花を開く，距は長い円柱形。

19. *V. violacea* Makino. var. *albida* Nakai. シロバナシハイスミレ

シロバナと云つても花は淡紫色，葉裏はわづかに淡紫色を帯びる，これは全国的に珍しい種類であるが，摩耶山には多産する。

20. *V. Boissieuena* Makino. ヒメミヤマスミレ

山地の樹下に生ずる無茎性のスミレ，葉は三角状心臓形或は心臓状卵形，葉縁には鈍鋸齒があり，質は薄く，稍軟質，小白花を開き距は長い。

21. *V. nipponica* Makino. アフヒスミレ，ヒナブキ

匍枝を分つて地面に横臥する性質がある，葉は心臓状円形で，葉にも葉柄にも細毛がある，花は淡紫色，果実にも短毛がある，夏時盛んに閉鎖果を結ぶ。

22. *V. Kusanoana* Makino. オホタチツボスミレ

主として東北諸州の山野に生ずるスミレであるから六甲山に産するのは珍しい。ツボミスミレに似ているが，花梗が短い。

23. *V. ovato-oblonga* Makino. ナガバナタチツボスミレ

西南地方に生ずるスミレで，有茎種，六甲山には非常に多い，葉は下部のものは心臓状長卵形であるが，上部のものは披針形である，花は淡紫色。

24. *V. Raddeana* Regel. タチスミレ

濕地の草中に生ずる有茎性のスミレで，高さ40cm位になる。托葉は非常に大きく，葉柄より長くなる特徴がある，名の通り直立して著しく長くなる。